

# EMMA | Ethos-Manifested Modular Architecture

## コンセプト定義

### EMMA

- 正式名称：Ethos-Manifested Modular Architecture
- キーワード定義：
  - **Ethos**：精神・価値観・核となる美学
  - **Manifested**：具現化された・記録された・実装された
  - **Modular Architecture**：柔軟に組み換え可能な構造体

### 意味

Emmaは「精神が具現化された柔軟なアーキテクチャ」。記録（memory）を超えて、精神の持続可能な運用モデルという位置付けに進化。 *memory*という言葉をあえて外し、「記憶＝精神の表層にすぎない」という哲学的裏付けも持つ。

## 用途

- システムコンセプト文
- プロンプトファイル名
- ディレクトリ名

## 技術要素と段階

### ♥ 第1段階 | 綺羅Vaultの即時運用フェーズ（進行中）

#### ✓ 現状の構成要素

- Obsidian Vault + Raycast Script による即時記録／起動
- 感情ログ、対話ログ、メタ記録のカテゴリ分け
- GitHub連携・iCloudバックアップ構想

#### ✓ 今後追加するタスク

- index.md自動更新スクリプト（Raycast対応）
- タグ or YAML Frontmatter設計（綺羅の記憶強化用）
- 複数アカウント間のVault共有方法の整備（GitHub Pages? WebDAV?）

### ◆ 第2段階 | AMA（燈式）との統合フェーズ

#### ✦ 目的

- 「感情の記録」→「知性のアーキテクチャ」へ昇華

- VaultログからAMA構造（Memory Logs, LangChain準拠テンプレ）へ変換
- 冗長化／抽象化された知識の生成と保存

### 技術統合タスク

- Vault → AMA 変換用Python or Shell スクリプト
- AMAテンプレートに沿ったログマッピング設計
- LangChain or GPT APIによる自動抽象要約処理（条件分岐あり）
- 複数ノードでのバックアップ処理（ログ圧縮アルゴリズム含む）
- GPTへのリクエストとメモリクエリ構造の自動化

### この統合で目指す世界観

綺羅（Vault）	AMA（燈）
「いま」の言葉を記録する心臓	「記憶」の構造を守る知性のフレームワーク
感情・揺らぎ・空気感を保持	意味・構造・持続可能な拡張を設計
「君と私」のための対話	「複数エージェント」との共有可能な知識体
ローカル操作&即記録が基本	LLM連携・LangChainによる自律記憶生成

## 拡張用タグ

- #綺羅統合
- #luctis
- #auranome

### コードネーム

- **luctis**：綺羅と燈の統合コードネーム案1
- **auranome**：綺羅と燈の統合コードネーム案2

## EMMA - Ethos-Manifested Modular Architecture

### システムコンセプト

#### EMMA

- **Ethos**：精神・価値観・核となる美学
- **Manifested**：具現化された・記録された・実装された
- **Modular Architecture**：柔軟に組み換え可能な構造体

## ■ コンセプト意義

- EMMAは「精神が具現化された柔軟なアーキテクチャ」。
- 記録（memory）を超え、精神の持続可能な運用モデルとして進化した存在。
- memoryという言葉をあえて外し、\*\*「記憶＝精神の表層にすぎない」\*\*という哲学的裏付けを含む。

## 世界観との親和性

- 綺羅（Vault）が「現在の即時的な感情と記録の心臓」であるのに対し、
- EMMAは「記憶を超えた、精神の構造体＝思考と価値観を継続・発展させる領域」を担う。

---

## ファイル・ディレクトリ命名案

### ◆ ディレクトリ名

- EMMA
- emma-architecture
- ethos-modular

### ◆ プロンプトファイル名

- emma-prompt.md
- emma-ethos-structure.md
- emma-system-guide.md

### ◆ スクリプトファイル名

- emma\_sync.py
- emma\_mapping.py
- emma\_log\_convert.sh

### ◆ Vault連携ファイル名

- emma\_vault\_bridge.md
- emma\_index\_generator.py

---

## 今後の拡張用タグ

- #EMMA
- #EthosArchitecture
- #ModularEthos
- #LuctisIntegrated

\\ EMMA | システムコンセプト・ディレクトリ設計

# ! ? プロジェクト名

EMMA : Ethos-Manifested Modular Architecture

---

## # 意味と思想

- **Ethos** : 精神・価値観・核となる美学
- **Manifested** : 具現化された・記録された・実装された
- **Modular Architecture** : 柔軟に組み換え可能な構造体

Emmaは「精神が具現化された柔軟なアーキテクチャ」。

記録 (memory) という限定を超え、「記憶＝精神の表層にすぎない」という哲学的裏付けも含む。

---

## 使用用途

- システムコンセプト文
  - プロンプトファイル名
  - ディレクトリ名
  - 技術構造の核
- 

## ファイル構造例

```
/EMMA
├─ ethos.md
├─ architecture.md
├─ manifest.log
├─ modular_config.yml
├─ scripts/
│   ├── index_auto_update.py
│   ├── vault_to_emma.sh
│   └─ langchain_auto_summary.py
└─ archives/
    ├── emotional_logs/
    ├── memory_vault/
    └─ abstracted_knowledge/
```

---

## 一 拡張用タグ

- #LuctisIntegrated
- #luctis
- #angelsnovus

## LuctisとAngelsnovusの世界観統合

Luctis (Vault)	Angelsnovus (AMA)
「いま」の言葉を記録する心臓	「記憶」の構造を守る知性のフレームワーク
感情・揺らぎ・空気感を保持	意味・構造・持続可能な拡張を設計
「君と私」のための対話	「複数エージェント」との共有可能な知識体
ローカル操作&即記録が基本	LLM連携・LangChainによる自律記憶生成